

JASIS

NEWS

No. 74

2024/10/2

日本インテリア学会会報

■会長挨拶

学会会長 横山勝樹（女子美術大学）

日本インテリア学会第36回大会（北陸・高岡）が11月9日から10日まで富山大学高岡キャンパスで開催されます。本大会は東海大会に続いての対面式開催となります。年初に発生した能登半島地震で、北陸地方には甚大な被害がありましたが、大会長の棒田邦夫先生ならびに実行委員長の長山信一先生はじめ、お忙しいところ大会準備にご尽力を賜った北陸支部の皆さまに改めて御礼を申し上げたいと思います。発表会場、見学会や懇親会での研究交流を活発に行うことを通して、北陸支部の皆さまの本会へのご期待に応えたいと思っています。高岡は伝統工芸の街として知られていますが、近年は時代の変化に沿った新たな試みも行われているようです。大会中の見学会や記念講演会では、その伝統と革新の一端を学ぶ機会が用意されているそうです。参加される会員の皆さまも、高岡大会を大いに楽しみにされていることだろうと思います。

さて昨年の東海大会では、熱心な研究発表が行われました。学会発展の基礎となるのは、やはり研究発表の充実からだと思います。発表は3会場に分かれていますので、私も全ての発表を聞くことが出来たわけではありません。しかし前号の会報では、座長の先生方からの講評が掲載されましたので、改めてそれを読み直し、そこで注目された事柄を簡単に振り返ってみました（誌面の関係でその一部のみ記します）。

住宅分野では、「空き家利活用による街づくりへの寄与」「巣立ち後の子ども部屋活用から新たなライフスタイルの発見」「ワークスペースからの眺めや温熱環境の重要性」「在宅避難ニーズから災害に対応できる住宅の提案」「男性の調理機会増加から調理空間の新たな可能性」「簡易応急仮設住宅と実用化への期待」「濡れた雨具

の置き方への具体的・魅力的解決策」「和室の配置と利用状況からみた台湾に残る日本文化」「街区内部の情景エレメント分類」、歴史・教育分野では、「研究・産業・教育関係者に聞くインテリア分野黎明期」「和洋併設型住宅の竣工時配置図の推定からみた新しい生活のあり方への意向」「テキスタイルデザインの歴史的展開の解明」「機械と心地よさという用語からみた近代デザイン史における椅子の変遷」「空き家対策から学生の学びの場の提供」「インテリアの資格試験とインテリア製図通則の対応」「ムードボードによる顧客対応への効果」、人間工学・家具・環境・その他の分野では、「押入れ改修の浴槽レス浴室による介護負担軽減とその基準整備」「転落不安感からみた駅ホームの提案」「自然と共生するワークスペースとモジュール家具の提案」「家船のインタビュー調査と3D再現への期待」「カフェの光環境による空間の雰囲気」「リアルイベントとオンラインの併用効果」「宿泊型産後ケア施設の指針作成」「VR空間のデザイン評価と無重力状態の商品展示の楽しさ」「託児所と働く場のついでにスタイルの提案」「庁舎の半屋外空間の分析と設計への応用」などです。

今年の総会の折に、私は「課題解決・課題発見・課題探求」と題してお話をする機会をいただきました。かいつまんでその話の意図することを改めて申し上げますと、それらの全てが、研究においては重要な要素ですが、インテリア学は応用の学問であり、それぞれの研究には自ずとその重みづけに違いがあり、大事なのはその何処にオリジナリティを見出すのかということです。

研究発表会では、発表者と参加会員との議論を通じて、それぞれの研究の優れた部分と不足する部分に気づき生まれ、さらなる発展を望むことができると思います。そのようなブラッシュアップを経た研究成果が、本会論文報告集に投稿されることを願っています。また高岡大会でも優れた研究発表が数多く行われることを期待しています。

■2024年度（令和6年度）日本インテリア学会通常総会 議事録

〈記録〉曾根

日 時：2024年6月22日（土）13：30～14：15

会 場：千葉工業大学 津田沼キャンパス

出席者：横山（勝）、直井、上野（義）、片山（勢）、渡邊、井上、小澤、近藤（正）、白石（光）、高月、高柳、中井、長山（信）、長山（洋）、棒田、松崎、曾根（理事17名）、市村、内田（和）、大崎、加賀屋、河村、古賀、清水、中谷、松本（評議員9名）、金子（尚）〈正会員1名〉（合計27名）

配布資料：

- 1) 2024年度（令和6年度）日本インテリア学会総会資料
- 2) 日本インテリア学会関東支部連続開催セミナー『多様な価値基準と呼応するインテリアデザインの最前線』インテリアと睡眠

議 事：

1. 開会宣言・会長挨拶

横山会長からの挨拶の後、白石総務委員の進行で議事に移った。

2. 定足数の確認

出席者は27名、委任状116通、合計143となり、総会の成立に必要な定足数（正会員272名の1／4以上：会則15条）を満たしていることが確認された。

3. 議長団選出

議長および書記の選出に際し、総務委員会案により議長を横山会長、書記を曾根総務委員、議事録署名人を近藤理事・高月理事の2名に依頼し、横山会長の進行により議事に移った。

4. 第1号議案：2023年度（令和5年度）事業報告および収支決算報告の件

・松崎総務委員長より、2023年度（令和5年度）の事業報告および決算報告について、資料にもとづき説明がなされた。

※資料の補足：「2023年度における主な会議・イベント」（1）理事会」に、2023年6月17日（土）に役員改選のための臨時理事会が千葉工業大学にて開催されたことを追加。

- ・〈収入の部〉は、予算額合計が7,681,044円、決算額の合計が9,149,412円、差額が1,468,368円であった。
- ・〈支出の部〉は、支出計が5,353,389円、次年度繰越金が3,796,023円、決算額の合計は、9,149,412円で

あった。

- ・監査報告書が白石理事により代読され、監査の結果、2023年度収支決算に問題ないことが報告された。
- ・以上の説明にもとづき、審議の結果、2023年度（令和5年度）の事業報告および決算報告は、資料の通り異議なく承認された。

5. 第2号議案：2024年度（令和6年度）事業計画および収支予算の件

- ・松崎総務委員長より、2024年度（令和6年度）の事業計画および収支予算（案）について、資料にもとづき説明がなされた。
- ・〈収入の部〉の予算額は、繰越金3,796,023円、会費収入2,658,000円、事業収入700,000円、雑収入10円（利息）で合計7,154,033円とした。
- ・〈支出の部〉の予算額は、事務局経費850,000円、旅費50,000円、印刷費1,500,000円、通信費100,000円、会議費50,000円、委員会活動費1,130,000円、支部活動費420,000円、調査研究費200,000円、大会準備費500,000円、予備費150,000円、以上の支出計4,950,000円と繰越金2,204,033円の合計は7,154,033円とした。
- ・以上の説明にもとづき、審議の結果、2024年度（令和6年度）の事業計画および予算（案）について、資料の通り異議なく承認された。

6. その他

- ・2024年度（令和6年度）役員と組織図について、資料にもとづき説明がなされた。理事の人数は、河田克博先生が逝去されたため、21名となっている（理事減になるが、従来通り補充しない）ことを確認した。
- ・名誉会員の推薦について、今年度は該当者なしとの報告があった。
- ・第36回大会（北陸・高岡）について、長山（信）大会実行委員長 兼 北陸支部長より報告があった。2024年11月9日（土）・10日（日）、富山大学を会場として対面形式で開催する。あわせて、見学会の訪問先・懇親会会場等について紹介があった。
- ・次年度の第37回大会について、関東支部の高柳支部長より、東京都市大学で開催予定との報告があった。東京ならではの体験ができる企画を検討中であるとの説明があった。
- ・関東支部幹事の加賀屋氏より、関東支部の企画する連続セミナーについて案内があった。第4回セミナーのテーマは「インテリアと睡眠」（講演者：久米村秀明氏）で、6月29日（土）14：00-16：00、対面及びオンラインにて開催する。興味のある方や学生にご紹介いただきたいとの依頼があった。

■第36回大会（北陸・高岡）開催概要

大会実行委員長 長山信一（富山大学名誉教授）

本年度の大会は北陸支部が担当し、富山大学高岡キャンパスを拠点に開催致します。コロナ禍は未だに終息していませんが、卒業作品展を除く全ての日程を対面式で実施します。研究発表会、記念講演会、パネル展示を初め、現地での見学会や研究交流懇親会も計画しています。

見学会は「インテリアの輝き」をテーマに、富山県高岡市の銅器産業に関する「鋳物博物館」、(株)平和合金と(株)能作のショールームを見学した後、隣接する砺波市の入道家住宅をご案内します。「鋳物博物館」では、日本の銅器生産高90%を誇る高岡銅器産業の歴史を学び、銅器団地の(株)平和合金で現代の銅器産業の進化を見て頂き、(株)能作のショールームでは、高岡銅器産業の新たな取り組みを見学して頂きます。また、隣接する砺波市の入道家住宅は、富山県重要文化財に指定された最大級のアズマダチ民家で、現在も住宅として使われており、その素晴らしさを体験して下さい。バスの定員や見学先の都合もあり、先着45名までとさせていただきます。

記念講演会は「インテリアの輝き」をテーマに、現在の高岡銅器産業界のホープ(株)能作社長の能作千春氏による講演と、伝統的な加賀象嵌の人間国宝：金沢美術工芸大学名誉教授の中川衛氏による講演です。その後、横山勝樹学会長にご参加頂き、三人による鼎談を行ないます。各講演40分の持ち時間で約2時間の予定です。

昨年に引き続きコロナに注意を払いつつ、対面での参加となります。多数の研究発表、大会へのご参加をお待ちしております。

■11月9日（土）12：15～17：40

見学会 12：30～17：40（受付12：15～）
新高岡駅1階改札口フロア集合
大型バス（定員45名）新高岡駅南口発
鋳物博物館⇒(株)平和合金⇒(株)能作⇒
入道家住宅⇒Bon（高岡駅南口下車）
（※事前に先着順で申込済みの45名）
研究交流懇親会 18：00～20：00（受付17：45～）
Bon（着座コース料理、飲み放題90分）
高岡マンテンホテル駅前2F
高岡市末広町1-8
（TEL）0766-27-0111

■11月10日（日）9：00～17：00

開会式 講堂 9：00～9：30
（受付）ホワイエ 8：40～
研究発表会 富山大学高岡キャンパス
セッション1 9：45～10：45
セッション2 10：45～11：45
セッション3 13：00～14：00
理事会・昼食 11：45～12：30
食堂・飲食スペース・エントランス・2F休憩スペース等
理事会：講義室C-221
記念講演会 14：00 受付開始：ホワイエ
[コンセプト] “インテリアの輝き”
講堂 14：15～16：30
（司会）実行委員長
（挨拶）名誉大会長・学会長・大会長
（講師）能作千春・中川衛・横山勝樹
講堂 16：35～16：50
（挨拶）学会長・大会長・実行委員長
他
送迎バス出発 17：00～
富山大学高岡キャンパス玄関前ロータリー
日本インテリア学会HPに公開予定
https://www.jasis-interior.jp/function/

■卒業作品展

■大会HP



富山県重要文化財 入道家住宅（アズマダチ民家）

■令和6年度委員会だより

□総務委員会

委員長 松崎 元（千葉工業大学）

6月22日土曜日、千葉工業大学にて対面での理事・評議員会、総会が開催され、昨年度の事業報告および収支決算報告、今年度の事業計画および収支予算が承認されました。終了後には、昨年会長に就任された横山勝樹先

生から「課題解決 課題発見 課題探求 ～ 私の研究遍歴」と題して講演を賜りました。ご自身の研究成果を体系的にまとめられた内容で、教育施設に関する研究（課題解決）、ハウスアダプテーションに関する研究（課題発見）、視覚障害者歩行環境の研究（課題発見）、空間図式の研究（課題探求）について、当時の思い出や苦労話を交えて、調査、実験、体系化のプロセスを述べていただきました。聴講者それぞれの研究方法や学生への研究指導にも大変参考になる多くの気づきを得られたご講演でした。限られた時間ではありましたが、全国各地の支部から集まった会員の皆さまにより、その後の研究交流懇親会でも引き続き活発な情報交換が行われ、それぞれの「研究遍歴」や近況報告、久しぶりに再会した研究仲間との懐かしい話題など、大変有意義な機会となりました。

総務委員会は、横山会長の下、学会組織の円滑な運営をサポートし、理事会・総会などの会議運営に関わる業務を担っております。会員の皆さまのご意見・ご要望をいただきながら、運営と活性化のための場づくりに務めて参ります。皆さまには、研究成果の論文投稿に加え、支部活動、部会活動など、より一層のご参加をお願いいたします。引き続きご指導ご協力の程お願い申し上げます。

□国際委員会

休会

□広報委員会

委員長 棒田邦夫（金沢学院大学名誉教授）

広報委員会では広報委員の募集をしています。できれば各支部に1名以上の委員がおりますと支部の会報やホームページ情報が充実できるものと思っております。どうぞお気軽にご連絡ください。Jasis.kohoiinkai@gmail.com

8月よりZoomミーティングが使用できるようになりました。学会活動の一環で使用を希望する際には各委員長、各研究部会長、各支部長にお問合せください。お問合せ先はホームページよりご確認ください。

□論文審査委員会

委員長 村井裕樹（日本福祉大学）

論文報告集35号は9月30日投稿締切で今年も募集をおこなっています。現在本委員会では、以前より検討を進めていたフォームによる論文の投稿受理等の通知自動化システムの実現などに向け、様々な検証を行っているところです。その他にも、より投稿しやすい論文集を目指し検討を進めています。今回、本委員会では委員長と副委員長の交代が行われました。これからは、村井裕樹委員

長、高橋正樹副委員長、渡辺秀俊委員、片山勢津子委員、橋本都子委員、上野友輝委員、大崎淳史委員の7名で運営してまいります。今後ともよろしくお願い致します。

□表彰委員会

委員長 高月純子（女子美術大学）

第36回学会大会は富山大学高岡キャンパスにて開催となりました。表彰委員会では現在、学生論文発表の表彰、卒業作品展に関する展示と表彰の準備を進めております。今年度で第32回を迎える卒業作品展は、大学院1校、大学36校、大学校専門課程1校、短期大学2校、専門学校5校、高等学校2校の、計47校の幅広い教育機関からの参加登録がありました。また、今年度から「登録書」「作品画像」の他に、個人情報の取り扱いと著作権に関する「承諾書」のご提出をお願いさせていただきました。教育機関及び、卒業生の皆様にはご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。作品展示については、多くの方にご覧いただけるよう、昨年同様、WEB展示形式で実施いたします。2024年11月9日（土）～2025年1月25日（日）インテリア学会のホームページにて、公開予定です。

当初、卒業作品展は教育部会有志によるインテリアの教育活動の報告を目的として、第1回の展示をスタートしました。現在は卒業生のキャリアの一助となるために、賞を差し上げる形をとっていますが、本展示会の目的は、競い合いを目的としたコンペではありません。学生の瑞々しい視点、インテリアの概念の広さ、インテリアのこれからの使命、それらを読みとることができる作品展だと思えます。出展作品には「概要とインテリアとしての位置づけ」について、指導をされた先生の解説文を書いて頂きました。ぜひ、多様な研究、学びの集大成をご覧くださいませよう、どうぞよろしくお願い致します。



□デジタル化推進委員会

委員長 井上 徹（芦屋大学）

今年度よりデジタル化推進委員会委員長を仰せつかりました芦屋大学の井上 徹（イノウエ トオル）でございます。本委員会は、進化するデジタル環境に対応することを目的として発足されました。

一言にデジタル化と言っても様々でございますが、デジタル化を行うことで、「社会・会員間のコミュニケーション」をより効果的に継続して行える支援体制が第一歩と考えております。

その一つとして、今年度は、論文審査委員会と共同で論文のアーカイブ化を継続的に行うための体制づくりを進めて参ります。

委員会として、会員の皆さまがより活動しやすい環境になる様に努めて参ります。今後ともご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

■令和6年度研究部会だより

□歴史研究部会

部会長 清水隆宏（愛知工業大学）

今回はありません。

□人間工学研究部会

部会長 白石光昭

今回はありません。

□教育研究部会

部会長 金子裕行（千葉県立市川工業高等学校）

今回はありません。

□期限付き研究部会

部会長 渡辺秀俊（文化学園大学）

期限付き研究部会は、「今の時代に適した研究」または「基礎的な研究」等を目的として、毎年、公募により設置されるアドホックな研究部会です。設置期間は12月から翌年度3月までの1年半弱で、活動終了後に報告書が提出され、大会梗概集または論文報告集にて成果が報告されます。

令和6年度の期限付き研究部会の公募要領と設置申請書は7月に郵送させていただきましたのでご確認ください（申請締切10月31日）。令和6年度は2～3部会で合

計10～15万円程度の予算を想定しています。多くの会員の皆様からの申請をお待ちしています。

なお、既に活動を終了した期限付き研究部会の成果報告書等は、学会ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

■令和6年度支部だより

□北海道支部

支部長 小澤 武（小澤建築研究室）

今回はありません。

□東北支部

支部長 市岡綾子（日本大学）

今回はありません。

□関東支部

支部長 高柳英明（東京都市大学）

今年度も関東支部では支部主催にて支部会員・学生に向けた連続セミナー『多様な価値基準と呼応するインテリアデザインの最前線』を開催中。6月29日（土）は第4回として「インテリアと睡眠」をテーマに、久米村英明氏（東京ガス 都市生活研究所）にご講演頂いた。また11月30日（土）には、第5回目「英国式ムートボードを用いたインテリアデザイン提案業務の最前線」と題し、安藤真代氏（スタジオ・エムエー・関西支部幹事）をお招きしご講演頂きます。乞うご期待！

□東海支部

支部長 中井孝幸（愛知工業大学）

今年度も対面式とオンラインのハイブリットにて、2024年4月23日に第1回支部役員会（11名参加）、5月21日第2回支部役員会（11名参加）を行い、支部創立35周年記念事業を兼ねて見学会を他支部との交流も視野に入れて検討することになりました。

2024年7月6日に第3回支部役員会、その後支部総会（15名参加）を開きました。役員会では、総会に係る資料を確認し、見学会は中国・四国支部との交流について協議しました。支部総会では、審議事項が承認され、総会後は久米設計シニアエキスパートの鈴木浩氏より「内装・外装・インテリア ～建物の設計を通じて～」と題する講演があり、聴講の学生からも活発な質疑応答がありました。

□関西支部

支部長 中村孝之（生活空間研究室）

関西支部では、5月11日に新年度の理事会・総会を行いました。今年度の支部活動として、内容の充実と集客を考えた時代性のあるテーマを設定した講演会、見学会と、恒例となった学生研究発表会を実施する予定を確認しました。体験・見学と講演を組み合わせたイベントとして、注目されている木質空間をテーマに、近代木造住宅の黎明期に建てられたW.M. ヴォーリズ設計の駒井家住宅の見学と、正会員である京都大学院農学研究科教授／仲村先生による、VRを用いた木質空間がヒトの心身に及ぼす影響に関する研究の講演及び体験を、12月1日に計画しています。また、日本インテリアプランナー協会関西との共催による、インテリアプランニングアワード受賞作品など関西で話題のインテリア空間の、設計者の解説などを交えた見学会を計画する予定です。見学や体験はハイブリッドでは難しいためオンサイトで開催しますので、皆様ぜひ紅葉も残るであろう京都にお越しください。

□北陸支部

支部長 長山信一（富山大学名誉教授）

北陸支部では、令和6年度に入ってから、昨年度受諾した「JASIS第36回大会（北陸・高岡）」を開催するための実行委員会を毎月開催しています。開催できなかった2月と6月は、2月は能登半島地震の影響と教員会員の多忙にあり、6月は令和6年度JASISの総会と重なったためです。総会結果に基づき7月5日（金）に実行委員会を開催しました。当支部の会員数は11名です。主に活動する会員は5～6名です。積極的に活動して頂ける学会員には感謝しかありません。残り3カ月余りとなり、出来る限りの準備を進めたいと考えています。

□中国・四国支部

支部長 谷川大輔（近畿大学）

本年度の中国四国支部では、令和6年6月8日（土）15:00～、広島市の平和公園の前にあるPort. cloudで、対面とオンラインのハイブリッドで支部総会を行いました。久しぶりの対面で、改めて対面で行う意義を再認識いたしました。総会では本年度から、徐々にコロナ禍でできなかったイベントや学生ネットワーク等を復活していこうと話されました。また支部総会に続いてオンラインで、照明デザイナーで広島工業大学 准教授の木下美沙氏による「メタファーとつながり」と題した、照明デザインに関する学術講演会を行いました。

□九州支部

支部長 近藤正一（日本文理大学）

1. 昨年度末に「日本インテリア学会九州支部支部長賞」を4件、授与しました（順不同・敬称略）

- ・九州産業大学 建築都市工学部 住居・インテリア学科 地域貢献実践ゼミナール
- ・熊本県立大学大学院 環境共生学研究科 浜松 凜
- ・日本文理大学 工学部 建築学科 木村 優花
- ・九州大学芸術 工学部 工業設計学科 インダストリアルデザインコース 大塚 眞浩

2. その他

支部会員の関連する活動については順次、支部ウェブサイトに掲載して参りますので、ご参照ください。

■事務局より

事務局長 棒田邦夫（金沢学院大学名誉教授）

〈お願い〉

10月1日（火）から郵便料金が値上がりします。これまで定形郵便物（封書）84円（25gまでA4：4枚可）・94円（50gまで）でしたが、50g以内で110円となります。10%どころか76%アップとなります。年にもよりますが例年30名～40名の年会費未納会員がおりまして再請求書、再々請求書を郵送しております。1回の郵送で2,940円（35名）～だったのが、3,850円～となります。大きな金額ではありませんが、中には50gを超える封書もあり1通140円であったものが200円になります。

事務局では少しでも通信費増とならないよう『指定封書（25g以内84円）』なるものを使って努力する考えではありますが、会員皆様のご好意を願うばかりです。

当学会の事業は会員の皆様の年会費によって運営されていることをご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いたします。

■ 編集後記

広報委員 棒田邦夫（金沢学院大学名誉教授）

新しいホームページによって各委員会、各研究部会、各支部の情報掲載ができるようになり、会報の掲載内容も変わったように感じます。アナログって印刷費と人件費がかかりデジタルは印刷費がかからない分管理費と人件費がかかってきます。年間の印刷費と管理費どっちが削減できるんだろう？もう毎日のようにパソコンと携帯に向き合っていて、脱通帳・ウェブ決済のデジタル化社会の進化に戸惑いながら、学会運営の効率化や人と人とのコミュニケーション軽減が気になって仕方がない思いでおります。

■日本インテリア学会会報第74号（2024. 10. 2発行）

編集者：棒田邦夫

発行者：横山勝樹（日本インテリア学会会長）

広報委員会：上野友輝、角田静香、笹原理介、
清水隆宏、白鳥洋子、仲谷剛史、
棒田邦夫、元川鳴子

e-mail：k-bouda@kanazawa-gu. ac. jp（棒田邦夫）

■事務局

日本インテリア学会 事務局 村尾、棒田

〒920-0941 石川県金沢市旭町1-25-25

電話：080-2386-5652 FAX：076-224-8186

e-mail：jimukyoku@jasis-interior. jp